社会福祉学科　専門教育科目　体系図

科目群の学習目標・到達目標

■社会福祉の意義、および社会福祉の基礎理論について理解する

社会福祉学科の教育課程編成の基本方針とともに、社会福祉学に関する代表的な理論・援助技術を理解・習得します。併せてソーシャルワーク教育の重要性、ソーシャルワークの意義と責務及び職務内容について理解を深め、ソーシャルワークに対する情熱や使命感、及び福祉マインドを持ったソーシャルワーカー、教育者、企業人等として 自らの目指す方向性を明確にします。

・社会福祉の原理（歴史・思想・哲学・理論等）と福祉政策（理念・法制度・社会システム・ビジョン）の基本について学びます。
・ソーシャルワーカーに必要な医学や公衆衛生学（医療や公衆衛生）に関する基礎知識を学びます。
・心理学の基礎を踏まえて、人の心理的反応と発達過程、基礎的な心理療法を理解します。
・現代社会の特性や生活の多様性、人と社会との関係、社会問題と背景を学びます。

■相談援助をはじめとする社会福祉方法論とともに、相談援助（ソーシャルワーク）の意義について理解する

相談援助をはじめとする社会福祉方法理論を習得することで、相談援助の方法とその意義、ソーシャルワーカーの責務及び職務内容について理解するとともに、ソーシャルワークに対する自身の適性を判断し、実践活動に対する情熱や使命感を高めます。

・社会福祉士、精神保健福祉士の法的な位置づけ、形成過程、倫理を理解し、職域に求められる役割について理解します。
・相談援助に関する代表的な理論・援助技術を習得します。
・ソーシャルワークにおける専門職の概念と枠組みを学びつつ、包括的・総合的な支援の全容を理解します。
・さまざまな環境のなかで生じる生活問題に対処するためのソーシャルワーク実践の全体像を理解します。
・社会福祉士として多様化・複雑化する社会の諸課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解します。
・社会資源の活用の意義を踏まえ地域における社会資源の開発やソーシャルワーク実践への展開について理解します。
・支援が必要とする人との支援関係の形成やニーズの掘り起こしに必要な知識と技術を理解します。
・個人や家族の主体性を尊重し、個人がもつ力を強化し、社会開発に挑戦していくことについて理解します。

■社会保障制度・政策についての理解を基に、福祉サービス提供組織の役割と経営の基礎理論、社会福祉の政策過程を理解する

超高齢化社会における社会福祉を考えるうえで重要な社会保障制度・政策に関する知識を身につけるとともに、社会福祉行政、財政および福祉サービス提供組織の管理・運営に関する知識を習得します。

・社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて習得します。
・現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解します。
・社会福祉にかかわる保険制度である年金保険制度、医療保険制度、介護保険制度、労働保険制度について学ぶとともに、保険制度以外の社会福祉制度についての知識を習得します。
・制度・政策論的アプローチにより、社会福祉の政策全般の体系、法的根拠、関連する行政組織を中心に、財政政策、福祉計画、人材の養成・定着政策等の専門基礎の知識を習得します。

1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期
現代社会と福祉４					社会福祉の歴史②	仏教福祉論②	
生活問題論②							
医学概論②							
	心理学概論②						
	社会学概論②						
相談援助の基盤と専門職Ⅰ２	相談援助の基盤と専門職Ⅱ②	相談援助の理論と方法Ⅰ④	相談援助の理論と方法Ⅱ④				
		地域福祉の理論と方法④	社会調査の基礎②				
						社会開発論②	社会資源論②
				ボランティア・市民活動論②			
				ユニバーサルキャンプの方法②		福祉レクリエーションの理論と方法②	
		社会保障④		福祉サービスの組織と経営②		福祉政策論②	

※表中の数字は単位数を表し、［　2　］は必修科目、［　②　］は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■社会福祉の各領域における法制度の理解、ソーシャルワークの実践過程及び援助方法について理解する 各福祉実践現場におけるソーシャルワークプロセスの意義や展開方法を理解するとともに、実践の基盤となる基本的な法制度に関する知識や、それらを活用した援助方法を理解するなど、援助活動をする上で必要となる力を身に付けます。 ・高齢者、障がい者、児童・家庭、貧困状態にある人等社会福祉援助を必要とする人々に関わる今日的な生活課題に対する法制度の内容と、それらを活用した支援方法を理解します。 ・権利擁護の意義、支える法と仕組み、権利擁護活動の実際について理解します。 ・各社会福祉実践機関・施設等における固有な援助目標、援助内容、支援計画づくり等についての理解を深め、ロールプレイ等を通して各援助の場の特性を生かした実践力を身に付け、チームアプローチを可能とする能力を身に付けます。 ・社会福祉援助を必要とする人々の具体的な生活支援の視点と方法を理解します。 ・保健医療の動向や政策・制度・サービスと実践に必要なソーシャルワーク支援の枠組みを学びます。 ・刑事司法の動向、制度のしくみ、関係機関の役割を理解します。			高齢者に対する支援と介護保険制度②	生活支援論②				
				障害者に対する支援と障害者自立支援制度②	権利擁護と成年後見制度②	更生保護制度②		
				児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度②			ジェンダー福祉論②	
				貧困に対する支援②				
				保健医療サービス②				
■社会福祉援助の理論を実践に応用する 社会福祉実践現場での各種実習を通して、ソーシャルワーカーとしての基礎的能力・知識・技能等を確認するとともに、福祉現場の課題やソーシャルワーカーとしての自己の能力や適性について問題点や改善点を考察するなど、ソーシャルワーカーとして実践的な能力を身に付けます。 ・社会福祉士、精神保健福祉士としての基礎的能力、価値規範、倫理、コミュニケーション能力を習得します。 ・多様な対象者への横断的、包括的支援について実践的に理解します。 ・多様な対象者の事例を用い、必要なソーシャルワークの技術、援助の展開課程、実践モデルを学びます。 ・実習、実習指導を踏まえ、ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得します。 ・実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として体系立てていくことができる総合的な能力を身に付けます。 ・ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術と価値観を統合し、社会福祉士としての指名に基づく支援を行うための実践能力を養い、総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解します。 ・支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握することができる能力を習得します。	相談援助演習Ⅰ 2		相談援助演習Ⅱ②	相談援助演習Ⅲ②	相談援助演習Ⅳ②	相談援助演習Ⅴ②		
		相談援助実習指導Ⅰ②		相談援助実習の理解と事前指導②	相談援助実習指導Ⅱ②	相談援助実習指導Ⅲ②		
		相談援助実習Ⅰ②			相談援助実習Ⅱ④			
■精神障害者とその家族に対する支援について理解する 精神障害者とその家族に対する支援について理解し、精神保健福祉士が行う相談援助活動の基本的な考え方とその方法を身に付けます。 ・精神障害及び精神保健福祉の課題をもつ人やその家族に対する精神保健福祉士の業務と役割、相談支援に必要な価値・知識・技術を理解します。 ・精神保健福祉の基本的な枠組み、精神障害特性や精神医療の特異性について理解します。 ・精神障害者の疾病と障害を理解し、個別支援からソーシャルアクションまでの実践の展開と地域に根付いた支援、多職種連携を実践する知識と技術を習得します。 ・精神科リハビリテーションの概念やアプローチを理解し、実践的な技術を習得します。 ・精神障害者の地域生活支援と権利を守る方法について理解します。				精神保健福祉の原理④	ソーシャルワークの理論と方法（専門）④			
							精神障害リハビリテーション論②	

※表中の数字は単位数を表し、［　2］は必修科目、［　②］は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■精神保健福祉に関する施策および法制度を理解する 精神保健福祉分野において、実践の基盤となる基本的な法制度に関する知識や精神障害者の地域生活を支える制度について理解します。 ・精神保健福祉法、医療観察法等を中心にソーシャルワークの視点から制度の概要と課題を理解します。 ・精神障害者の生活支援（居住、就労、経済等）に関連する制度、福祉サービスの知識と支援内容について理解します。					精神保健福祉制度論②			
■精神保健をめぐる課題、精神疾患とその治療法を理解する ライフステージに関連づけながら精神の健康をとらえ、精神の疾患とその治療について理解し、それらにおける精神保健福祉士の業務や役割を理解します。 ・精神疾患と治療方法について基礎的知識を理解し、チーム医療や多職種連携における精神保健福祉士の役割を理解します。 ・精神医療と人権擁護の歴史から、法制度の課題を理解します。 ・現代の精神保健福祉の動向と課題、精神保健の諸課題とそれに対するアプローチを理解します。					精神医学④	精神保健学④		
■精神保健福祉援助の理論を実践に応用する 精神科医療機関、障害者支援施設等での実習を通して、精神保健福祉士に必要となる基礎的な知識・技能等を深め、精神保健福祉現場における課題の発見や解決方法を検討する力、精神保健福祉士としての自己の能力や適性について内省する力など、精神保健福祉士としての実践的な能力を身に付けます。 ・演習における疑似的な体験を通して、精神障害者の置かれている状況の理解、共感的実践能力を養うとともに、問題の解決に向けた総合的かつ包括的な援助について実践的に習得します。 ・精神保健福祉援助の基本となる知識・技能をもとに、多様に変化する生活問題に対処する能力を養い、ソーシャルワーカーとしての力量を常に高めていこうとする姿勢を身につけます。 ・精神保健福祉援助実習を通して、様々な生活課題を抱える精神保健福祉現場の実際に触れ、精神保健福祉の専門職への認識と自己理解を深め、実践的な力を身に付けます。 ・精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者や家族への支援の実際に触れ、本人や家族のニーズを踏まえた実践的援助力を身に付けます。 ・精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉士の業務内容や職業倫理への理解を深め、精神保健福祉士に必要な知識・技能や実践的指導力を身に付けます。					精神保健福祉援助演習Ⅰ② 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ②	精神保健福祉援助演習Ⅱ② 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ②	精神保健福祉援助演習Ⅲ② 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ② 精神保健福祉援助実習⑤
■学校におけるソーシャルワークの理論を実践に応用する 学校教育機関を中心とした援助過程について、地域内連携のあり方を含めて理解を深め、スクールソーシャルワークを実践する上で必要となる実践力を身に付けます。 ・課題を抱える児童生徒及びその家族に関する援助の方法のあり方や、児童・家族を取り巻く生活環境上の調整に向けた地域における関連機関相互の連携のあり方を身に付けます。 ・不登校、いじめによって不調をきたした児童生徒及びその家族、教師の状況を理解し適切に関わる知識を身につけるとともに、学習上又は生活上の困難を児童・家族が改善、克服に向えるような援助を行うために必要な理論や知識、技術を身に付けます。					スクールソーシャルワーク論② スクールソーシャルワーク演習②		スクールソーシャルワーク実習指導② スクールソーシャルワーク実習②	

※表中の数字は単位数を表し、［　2　］は必修科目、［　②　］は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■児童期から老年期までの各機能の発達の道筋および精神保健の基礎理論を専門職あるいは社会人、家庭人として健康に過ごす能力について理解する 児童生徒が健全に育つために必要な環境についての考えを深めるとともに、教育・福祉の現場で専門職として健康に働き抜くための知識と心構えを理解します。 ・児童生徒の心身の発達や思春期特有の心性の理解、克服課題といったメンタルヘルスに関する知識を習得します。 ・児童期を取り巻く環境（養育者、保育施設、学校、地域、文化など）の現状を学び、今後の子育ち・子育てに何が必要であるかを考える力を身に付けます。 ・人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係、心理的支援の方法・実際について理解します。 ・「生きる力」としての精神保健についての基本知識の習得、ライフサイクルの節目に出現する問題への解決技能を習得します。 ・自己の限界を超えた就労になりやすい対人サービス職の構造を理解し、我が身や家庭を守りながら自己実現するあり方を理解します。 ・各発達段階における課題と危機、人に備わる心の働きの発達の道筋や機能について理解します。					児童心理学②			発達心理学②
						精神保健学④		
■教育行政や学校組織とその管理運営に対する理解と児童・生徒への生徒指導のあり方を理解する 児童・生徒への個別的な支援とスクールソーシャルワーカーとして教育機関の様々な専門職と連携を図るためにも教育行政や学校組織と管理運営について理解します。 ・教育に関する基礎的諸概念と教育と社会の関係について基礎知識を習得します。さらに教育の制度に関わる事項について、学校や学級の経営に関わる基礎知識と学校の組織や管理運営のあり方を理解します。 ・我が国の教育制度に係る法令や国・地方行政組織のしくみを理解し、教育行政の果たす役割や学校等における教育活動との関係について理解します。さらに国や地方教育行政における教育改革の動きなど、教育の最新事情を把握します。 ・教育相談の基本的な心構えを習得し、学校で起こっているさまざまな問題の理解と支援について理解を深めます。 ・カウンセリングの基本的な考え方について理解し、さらに保護者への支援方法について理解します。 ・生徒指導が、問題行動を起こした生徒のみならず、準問題行動域の生徒及び一般生徒に対して学校教育活動全体を通じて援助・指導していくものであることを理解します。 ・生徒の問題行動の動向を捉えた上で、いじめ問題、児童虐待問題において、学校、教員に求められる生徒指導の在り方について理解します。	教育学概論②					教育行政学②		
					生徒・進路指導の理論と方法②		教育相談の理論と方法②	
■社会における福祉マインドを考え、多様化するニーズに対応する支援・サービスについて理解する 福祉マインドを活かし、ソーシャルビジネス等の分野で必要となる基礎的な知識・技術を理解します。 ・高齢者、障がい者、子ども・家庭、貧困状態にある人などが必要としている支援・サービスをビジネスの手法で支援し、解決へと導いていくソーシャルビジネスについて理解します。 ・ソーシャルビジネスの対象となる人々が抱える課題の解決に向けともに考えていく過程、“福祉をデザインしていく”意義について理解します。 ・健康に影響する社会の仕組みや健康増進、疾病予防のための個人の生活習慣、ライフステージ別の健康づくりの取り組みを理解します。		福祉デザインの基礎②	福祉デザイン実践演習②	福祉デザイン実践実習Ⅰ②	福祉デザイン実践実習Ⅱ③			
						障害者スポーツ論②		
						事業計画論②	経営組織論②	

※表中の数字は単位数を表し、［　2　］は必修科目、［　②　］は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■社会福祉に関わる学びの総仕上げを行い、体系的な学びを完成させる 社会福祉の原理や歴史、相談援助の理論や実践方法、社会福祉制度・政策等に関するこれまでの学習を踏まえ、在学中の学びの総仕上げを行います。 ・これからの福祉サービスのあり方や生活問題解決に対し、自らの考えを発表し文章化する力を養うとともに、他者の意見から学ぶことで多面的な視点の涵養を目指します。 ・さまざまな専門領域の学生との演習を通して福祉の専門性を高め、実践的な知識や技術の習得を目指します。 ・大学での社会福に関わる学びと現場実践に必要な知識や技術を確認します。								共生援助論②
						社会福祉実践演習Ⅰ②	社会福祉実践演習Ⅱ②	
■教職の意義等について理解する 教職の意義と責務及び職務内容について理解するとともに、教職に対する自分の適性を判断し、教育に対する情熱や使命感を高めます。 ・学校教育の重要性、教職の意義と責務及び職務内容について理解を深め、教育に対する情熱や使命感、及び福祉マインドを持った教育者としての自らの目指す方向性を明確にします。	教職概論②							
■教育の基礎理論について理解する 教育学、心理学など教育に関する基礎的な理論を学び知識を習得するとともに、法令や教育行政など学校教育を支える基盤となる諸制度に関する基本的な知識を身に付けます。 ・教育福祉学の基盤を構成する教育学、心理学についての基礎的な知識を理解します。 ・教育の本質や理念、教育の目的、教育実践の歴史や思想等についての理解を深め、これからの教育のあり方や教育課題解決に対する自分の考えを述べることができるようにします。 ・学校教育に関する法令の基本的な内容とともに、学校を中心とした教育制度と学校経営に関する事項について理解します。 ・生徒の心身の発達及び学習の過程について理解します。	教育学概論②	教育原理②				教育行政学②		
		日本国憲法②						
		教育心理学②						
■教育課程及び指導法について理解する 各学校種における教育課程の意義や編成方法を理解するとともに、教科指導の基盤となる学習指導要領に関する基本的な知識や指導方法を理解して、教育活動をする上で必要となる指導力を身に付けます。 ・今日的課題である学力向上や体力向上などを踏まえ、教育課程の意義及び編成の方法について理解します。 ・板書、話し方、表情等、授業を行う上での基本的な表現力を身に付けます。 ・計画−実行−評価−改善の繰り返しによって自己の授業力が向上することを理解し、その方法を実践的に身に付けます。 ・体験を生かした道徳の授業づくりや道徳的実践力の育成等について理解し、生徒が自らの生き方について考えを深める道徳の指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・望ましい集団活動や体験活動、コミュニケーションスキルを高める指導等について理解を深め、特別活動の特性に応じた適切な指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。			教育課程論②		教育方法論②			
					社会科教育法Ⅰ④	社会科教育法Ⅱ④		
						公民科教育法④		
				道徳の指導法②				
				総合的な学習の時間と特別活動の指導法②				
	特別支援教育の理解と方法①							
■生徒指導、教育相談及び進路指導について理解する 生徒理解に関する基礎的な知識や方法を学ぶとともに、発達段階に応じた生徒指導や教育相談等のあり方や指導方法を身に付けます。 ・豊かな人間関係づくり、家庭や地域社会との連携等について理解を深め、生徒の人格発達を目指した指導ができる実践的指導力を身に付けます。 ・生徒理解や保護者との信頼関係に欠かせないカウンセリング・マインド、コミュニケーション・スキル等について理解を深め、教育相談の理論や技法を身に付けます。 ・勤労観の育成やキャリア教育等について理解を深め、適切な指導や助言に必要な進路指導の理論や技法を身に付けます。			生徒・進路指導の理論と方法②					
					教育相談の理論と方法②			

※表中の数字は単位数を表し、［　2］は必修科目、［　②］は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■教育の理論を実践に応用する 教育現場での各種実習を通して、教職に必要となる基礎的な知識・技能等を確認するとともに、教育現場の課題や教育者としての自己の能力や適性について問題点や改善点を考察するなど、教育者としての実践的な能力を身に付けます。 ・教育現場の体験を通して子どもとふれあい、教師に求められる資質・能力について自覚するとともに、学校教育が抱えている現実の諸課題への認識を深めます。 ・教職の基本となる知識・技能をもとに、多様に変化する教育現場に対処する能力を養い、教員としての力量を常に高めていこうとする姿勢の大切さを自覚します。 ・中等教育実習を通して、様々な教育課題を抱える教育現場の実際に触れ、教育職への認識と自己理解を深め、実践的指導力を身に付けます。 ・特別支援教育実習を通して、障害のある児童、生徒の教育の実際に触れ、障害の状態や教育的ニーズを踏まえた実践的指導力を身に付けます。						中等教育実習事前事後指導①	中等教育実習Ⅰ② 中等教育実習Ⅱ②	教職実践演習（中・高）②
■教科に関連する領域の理論と方法について理解する 中学社会、高校公民の教員として、必要とする基礎的な知識の理解を深めます。 ・「歴史学」、「地理学」、「経済学」、「法律学」、「哲学」の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けます。			日本史概論② 哲学概論②	世界史概論② 法律学概論②	地理学概論② 経済学概論②			

※表中の数字は単位数を表し、［2］は必修科目、［②］は選択科目です。